

高機能消防指令センターの紹介

最新鋭の通信指令システムが導入され平成27年4月1日から運用開始となりました。高機能消防指令センターは災害による被害を最小に抑えるため、災害受信から活動終了まで一元的に管理し、24時間休むことなく機能しています。



主な機器のご紹介

多目的情報表示盤



消防指令センターの正面に配置されている多目的情報表示盤は、車両運用・支援情報・多目的情報等を表示します。これらの表示は、表示位置を任意に入れ替えることが可能で、災害状況に応じて表示位置を変更することができます。

指令台・無線統制台



1 座席は 4 画面で構成されています。これらの座席は指令台 2 座席、指令台と同等の機能を有した統制台 1 座席の計 3 座席あり、それぞれの座席が 2 画面構成にすることもできます。通報が多数入電した際は、2 画面 6 座席の「輻輳モード」で事案受付することが可能です。

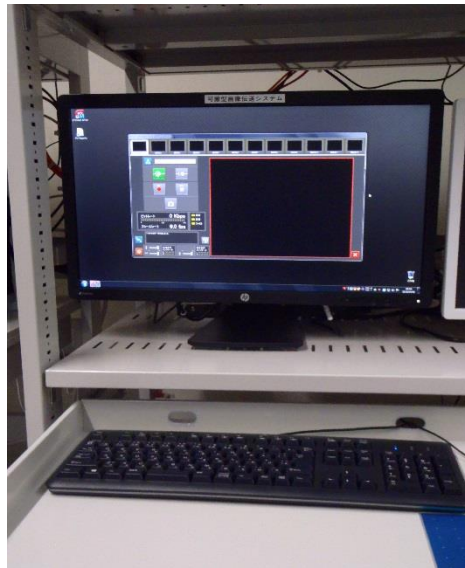
災害情報テレホンサービス



音声合成装置からの災害状況案内メッセージを自動録音し、市民からの災害の問い合わせに自動的に応答します。

[電話番号は 0186-42-0119]

画像伝送装置



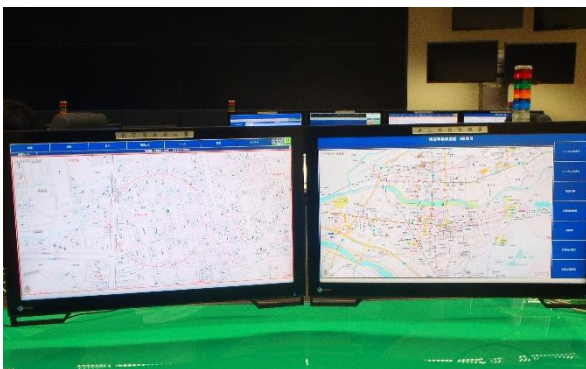
災害現場の状況をリアルタイムで指令センターへ伝送する装置です。携帯電話網を利用した映像伝送システムで、音声通話も可能で、リアルタイムに指令センターから災害現場の撮影者へ指示を出すこともできます。

消防用高所監視装置



消防本部無線鉄塔の上部に設置されており、119番通報と連動し、高所からの撮影映像により現場状況を的確に把握することができます。

総合型位置情報通知システム



119番の受信と同時に、指令台画面に通報の住所情報や付近地図が瞬時に表示されるシステムです。

署所端末装置



各署所に設置されており、指令センターから、各種指令の受信を行います。音声指令するとともに、現場の情報及び地図が印刷されます。

また、各署所に46型の災害情報表示盤が設置され、各種支援情報が表示されます。

車両運用表示盤



各署所の車両の状況（出勤・業務出向・待機中・整備中など）を表示し災害発生時の出勤車両の確認に役立っています。

FAX 119 番受信装置



FAX による 119 番通報を受信する装置です。
番号は局番なし「119」です。

メール 119 受信装置



聴覚や発語等に障害のある方でもパソコンや携帯電話からメールによる 119 番通報ができる装置です。

駆け込み通報装置



各署所の玄関に設置され、出勤などにより職員が不在のときでも直接指令センターと通話ができ、119番受信時と同様に対応できる装置です。

車両運用端末装置



指令場所や地図情報、道路障害・水利情報といった支援情報など各種情報の閲覧・検索が行え、GPS機能を装備し、指令センターで車両の位置・活動状況が把握できます。

消防救急デジタル無線システム



前進基地局



卓上型固定移動局



車載型移動局



可搬型移動局



携帯型移動局



消防団無線機

- ・ 雑音が少なく、クリアな音声で確実な通話が可能になります。
- ・ 秘匿性が向上し、救急患者等の個人情報、より一層保護されます。
- ・ ショートメールによる支援情報の伝達が可能となります。
- ・ セレコール（個別選択呼出）機能により、個別・グループ・一斉呼び出しの指定通信が可能となります。
- ・ 音声通信に加えてデータ送受信が可能となります。